

平成26年度文部科学省委託事業  
第1回加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会

**2015年世界アンチ・ドーピング規程  
及び国際基準の改定  
2015 World Anti-Doping Code & IS  
改定ポイント、今後のスケジュール**

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構  
事務局長 浅川 伸

# 改定ポイント

1. Codeがより分かりやすく、より短く
2. クリーンアスリート、スポーツのインテグリティのため  
- values-based
  - 価値を基にした教育、情報提供の予防プログラムが義務事項としてより明確に（基本原理, 18,20,21条）
3. アンチ・ドーピング規則違反：8→10項目に（2条）
4. アスリートの厳格責任と役割＋責務がより明確に
5. サポートスタッフに対する厳格な制裁、役割＋責務がより明確に
  - 違反となる行為に対する責任
  - 自身の良い影響力を行使

# 改定ポイント

6. 検査と捜査・インテリジェンス活用（5条、ISTI）
7. 比例性の原則及び人権（proportionality, human rights）をより考慮
  - 「未成年」= Minorの扱い－18歳未満
  - 居場所情報提出義務違反の累積、  
18か月→12か月内3回（2.4条）
  - TUEの申請先がより明示的に（4.4条）
  - チーム又はクラブの施設使用の早期可能性（10.12.2条）

**PLAY TRUE**

**BE the REAL CHAMPION!**

